

新規事業計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 風の馬
施設名	ペガサス福泉中央こども園
報告者（役職）	横田 多希子（園長） 池上 美紀（副園長）
住所・連絡先	大阪府堺市南区稲葉 1-3131-2
	☎ 072-275-1234 E-mail fukuizumi@pegasus.or.jp

○タイトル（事業計画）

地域の方にもインクルーシブ教育・保育を知ってもらい、一緒に遊ぼう

○主な助成備品

パルハントスタンプ・折りたたみマット・タイムタイマー・ボッチャ

1. 保育計画策定の目的

ペガサス福泉中央こども園では、令和4年度の開園当初から地域交流を行い子育て支援として毎月イベントを行っております。令和5年度からは、年間4回程度、地域の子育てサロン「プーさん」とコラボイベントを行うようになりました。当園のお遊戯室で地域のお子さんと一緒にリトミックや運動会ごっこを行っています。また、「足育」についての保健指導を行い、その際にお子様の成長記録として残せる、手型・足型アート制作を行っています。

子育て支援活動を通して、地域の方が当園を訪問し、どのような教育・保育を行っているのかを知ってもらうために、地域の方に園に来ていただき、実際見ていただくことで、インクルーシブ教育・保育の良さを伝え、地域に根付いた愛される園となるよう、今後も地域の子育て支援に力を入れていきたいと考えています。

2. 具体的な実施内容

○地域と共に楽しんだ運動会ごっこ

10月に、地域の親子参加を募り、運動会ごっこを開催し、交流を深めました。当園には、目に見える障がいのある子、目には見えなくても心に障がいのある子もいます。毎日の生活の流れは理解し、情緒を安定させて過ごすことができるけれど、いつもと違う時間、環境に戸惑ったり、落ち着かない様子を見せる子どももいます。

運動会ごっこの日は、いつもと違う時間に朝の自由遊びのお片付けになりました。そんな時は、保育教諭が事前にタイムタイマーを使ってお片付けの時間を知らせます。



○障がい（ハンデ）のある子もない子もみんなが一つになり遊べるスポーツ「ボッチャ」
ボッチャは、重度脳性麻痺者や四肢重度機能障がい者も参加でき、パラリンピックの正式種目となっているスポーツです。

ルールのある遊びにも、他の子どもたちと一緒に参加できるよう支援してきましたが、障がいのある子どもや医療的ケアが必要な子どもたちも、もっと一緒に競い合い、分け隔てなく楽しめる遊びはないかと、協議を重ね、出会った遊びが「ボッチャ」でした。

重症心身障がいのある子や肢体不自由児のお子さんも、他児とボッチャを通して、触れ合い楽しい時間を一緒に過ごすことができました。



○子育て支援で『足育』講座

足は将来の健康を左右するため、乳児期に適切なケアを行うことが大切であるということを伝えました。

「土ふまず」の役割や「歩くことの必要性」、「靴のえらび方」等、保護者の方と一緒に考え、子どもの発達や成長についても学ぶことができました。

そんな大切な子どもたちの足や手をスタンプで残し、土ふまずのくぼみなどがわかるよう記録に残しました。



3. その成果と評価

見える化としてタイムタイマーを使用した結果、次の行動にスムーズに移すことができ、運動会ごっこでは、かけっこや果物運びリレー等を楽しむことができました。

また、地域の年下のお子様も参加していましたが、優しく声をかけ手をつないでリードしてあげる姿もあり、小さい子に対する思いやりの気持ちも芽生えていました。運動会ごっこの終わりには、保護者の方からも「遊んでくれてありがとう」と声をかけてもらい、子どもたちは誇らしい表情で一回りたくましく成長したように感じました。

ボッチャ大会でも、医療的ケア児が他児と一緒にスポーツを楽しみ、協力し、助け合うことで、友達との関りを深めたり、相手のあるがままの姿を受け止めることの大切さを知ることができました。

足育についても、看護師の話を通して地域の方と子どもの健康について話し合うことができました。このような機会を設けることで、将来を担う子どもたちが健康で成長していってくれることと思います。

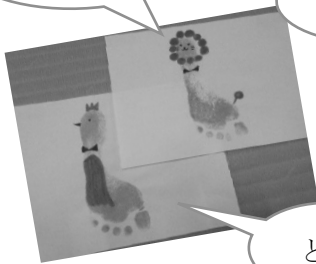
運動会ごっこ



ポッチャ大会



ライオン

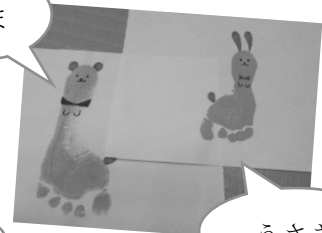


キリン



足育講座

くま



とり

フラミンゴ

うさぎ

4. 今後の課題と展望

インクルーシブ教育・保育を行っていく中で、今後も障がいの有無にかかわらず、皆が楽しめる毎日となり、こども園でしかできない遊びなどをたくさん経験できるようにしていきたいと日々考えています。

まだまだ人の意識の中では、障がい等に対して、偏見を持っている方もいるとは思いますが、今後も地域の方との交流をたくさん行い、インクルーシブ教育・保育の中で育つ子どもたちは、人を思いやる気持ちが自然と育つこと、将来一人ひとりの個性を大切に思える気持ちが持てる大人となる環境であることを、伝えていきたいと思っています。

以上